

英語で抑留の史実を

舞鶴引揚記念館でガイド研修開始

計3回 外国人来館者に解説へ

舞鶴引揚記念館（舞鶴市平）で、訪日外国人に館内を英語で案内するガイドの育成研修会が13日、始まった。10～70代の受講者が27日まで計3回の研修を受け、戦後の引き揚げやシベリア抑留の史実、英語での伝え方に理解を深める。

鈴木さん（左）から研修会の内容について説明を受ける受講者たち。舞鶴市平・舞鶴引揚記念館

新型コロナウイルス収束後を見据え、増加傾向にあった外国人来館者に史実を伝える人材を育成するため、同館が初めて企画。コロナ禍の影響で当初より2カ月遅れて実施し、同市などから17人が参加した。

初回は長嶺睦学芸員が、引き揚げ体験者らから、引き揚げ体験者らからの寄付で同館が建設された経緯や、シベリア抑留時の過酷な生活の歴史を説明。英語での伝え方も解説した。今後、企業の社員研修などで英会話指導を行う鈴木真奈さん（37）＝舞鶴市湊尻＝を講師に、館内で案内の練習をしたり、外国人への声掛けやコミュニケーションの取り方を学んだりする。

西舞鶴高1年小島萌衣里さん（16）は「引き揚げや抑留に関する英語の表現を学び、世界の人に伝えたい」と話していた。（大西成美）